

あ れ み ゆ う

2022 夏
VOL. 64

季刊誌あれみゆう
マスコットキャラクター
「みゆう」



あれみゆう 2022年夏 VOL.64

発行/医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院 〒004-0839 札幌市清田区真栄 319 TEL.011-884-6878 (代表) FAX.011-884-6731 <http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp>

表紙イラスト：うらつかりょうま

p1 これからの精神保健医療福祉のゆくえ
～誰もが自分らしく、安心して暮らせる社会を目指して～

p4 【コラム】
・「病院機能評価3rdG:Ver.2.0」の
認定を受けました
・編集者お勧めの本

p5 看護部長就任あいさつ
さっぽろ香雪病院 看護部長 角谷英孝

p6 あれみゆうレシピ!
「肉味噌そぼろ丼」

医療法人五風会 **さっぽろ香雪病院**
精神科・内科・心療内科・歯科



〒004-0839 札幌市清田区真栄319番地
TEL.011-884-6878 FAX.011-884-6731
[URL]<http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp>

基本理念

わたしたちは深い愛と思いやりの心で潤いのある医療を大切にします。
わたしたちはチーム医療を実践し、より専門性を究め良質で適正な医療を提供します。
わたしたちは社会の平和を願い奉仕の精神で地域社会に開かれた病院づくりをめざします。

基本方針

さっぽろ香雪病院は、患者さまの人権を尊重するとともに、ご家族、並びに地域の皆様に安心してご利用いただける医療サービスを提供し、高度な知識と技術の習得に努め、良質な医療の実践をめざします。



- 〈アクセス〉
- 地下鉄東豊線「福住」駅下車
福住バスターミナルより 中央バス(福87)「香雪病院前」下車
 - 地下鉄東西線「大谷地」駅下車 車で約20分
大谷地バスターミナルより 中央バス(大88)「真栄3条2丁目」下車乗換
中央バス(福87)「香雪病院前」下車
 - 駐車場 120台

送迎バス

地下鉄大谷地駅、福住駅から無料送迎バスがあります。
詳しくはホームページをご覧ください。
(<http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp/>)

関連事業所

- 1 福住メンタルクリニック・デイケアクルール**
〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目1-20 メール福住ビル3階
TEL.011-853-1889 FAX.011-856-2030
- 2 訪問看護ステーション ラパン**
〒004-0839 札幌市清田区真栄328
TEL.011-375-7515 FAX.011-375-7525
- 3 札幌市障がい者相談支援事業所 相談室きよサポ**
〒003-0022 札幌市白石区南郷通14丁目南4-8 キャッスル大木戸1階
TEL.011-860-1750 FAX.011-860-1760
- 4 ケアプランセンター**
〒004-0839 札幌市清田区真栄323
・相談支援事業所 相談室りっか
TEL.011-802-6880 FAX.011-802-6881
・居宅介護支援事業所 セラヴィ
TEL.011-887-6355 FAX.011-887-6356
- 5 ワークサポート・プティパ**
〒004-0873 札幌市清田区平岡3条1丁目2-5
TEL.011-887-5111 FAX.011-887-5112
- 6 グループホーム イエール福住**
〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条1丁目2-8 セントラルスタート福住 内
TEL.011-827-7532 FAX.011-827-7531
- 7 ケアホーム イエール真栄**
〒004-0836 札幌市清田区真栄6条1丁目1-1
TEL.011-885-6400 FAX.011-885-4000
- 8 住宅型有料老人ホーム パティオ真栄**
〒004-0836 札幌市清田区真栄6条1丁目1-1
TEL.011-885-0100 FAX.011-885-1800
- 9 高齢者支援複合施設 美しが丘テラス**
〒004-0813 札幌市清田区美しが丘3条8丁目2-1
TEL.011-887-6311 FAX.011-887-6340
・サービス付き高齢者向け住宅
TEL.011-887-6311 FAX.011-887-6340
・訪問介護ステーション 美しが丘テラス
TEL.011-887-6830 FAX.011-887-6340
・デイサービスセンター 美しが丘テラス
TEL.011-887-6876 FAX.011-887-6340
・小規模多機能ホーム 美しが丘テラス
TEL.011-887-6781 FAX.011-887-6340



地域社会資源について意見を出し合いイメージをつくる‘作業療法’



相談室リっか

これからの精神保健医療福祉のゆくえ

誰もが自分らしく、安心して暮らせる社会を目指して

精神疾患はより身近に

近年、精神疾患を有する患者数は増加傾向にあります。平成25年、厚労省は医療計画の疾病として指定する「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病」の4大疾病に、新たに精神疾患（うつ病など）を加えて「5大疾病」としました。平成29年には、精神疾患患者は約420万人となり、傷病別の患者数をみると脳血管疾患や糖尿病を上回るなど、国民にとって精神疾患は身近な病気となっています。

また、新型コロナウイルス感染症を背景とする長期に及ぶ自粛生活等は、国民のメンタルヘルスに大きな影響を与えています。

す。厚労省の「新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査（令和2年9月）」によると、国民の約6割が何らかの不安やストレスを感じていることが分かり、メンタルヘルスの不調やそれに伴う精神疾患が今後ますます急増していく懸念が指摘されています。

さらに、自殺者数は、平成22年以降は10年連続で減少していましたが、令和2年には11年ぶりに増加に転じています。昨今続く芸能人の無念の悲報は記憶に新しいことと思います。

このように、これからの精神保健医療福祉を取り巻く新たな課題に加えて、「長期入院者の地域移行」等に代表される、精神医療が抱える往年の課題に対し、新たな施策の構築が望まれています。

ています。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」 「『にも包括』とは

日本の精神保健医療福祉については、平成16年9月、厚労省が策定した「精神保健医療福祉の改革ビジョン」において「入院医療中心から地域生活中心」という理念を明確にし、その後様々な施策を行ってきました。しかしその理念の達成には至っていない現状のなか、新しい精神保健医療福祉体制を考えていくために、平成28年1月、「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」が設置されました。翌年2月にはその報告

書が取りまとめられ、そこでは精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育等が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」＝通称「にも包括」の構築を目指すことが日本の新たな地域精神保健医療福祉の理念として明確化されました。

「にも包括」は、高齢者における「地域包括ケアシステム」の考えを応用しつつも、その内容は精神障害者の特性に応じたもので、第5期障害者福祉計画・第7次医療計画の見直しを踏まえ、医療と福祉の適合性に配慮されていたものとなっています。

さらに、その「にも包括」の構築を推進するため、令和3年3月、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会報告書」が取りまとめられました。報告書では、同システムの構築は「日常生活圏域」

『にも包括』の実現に向けて

を基本とし、市町村などの自治体を基盤として各種事業を進めていくことが明文化され、今後、必要な諸制度の見直し等具体的な取組について検討し、その実現を図ることとされました。

実現に向けた具体的な取組についての検討会（地域で安心して暮らせる精神保健福祉体制の実現に向けた検討会）は、令和3年10月から開催され、精神保健に関する市町村等における相談支援体制や精神科入院者への訪問相談体制の構築について等、幅広い議論がなされています。また、ここでは精神科病院の運営の根拠法ともなる「精神保健福祉法」の改正に向けた議論も展開され、令和4年6月9日までに13回もの会合が開催されました。

このように、より良い地域精神保健医療福祉の構築に向けて

厚労省を中心に何年もかけて複数の検討会等で議論し、目指すべき方向性を「にも包括」に集約しました。ここで注目すべきは、精神障害者も「地域の『一員』」として認識されるべきとする概念や、精神科病院だけではなく、市町村や地域の事業所、自治会やボランティア等が連携して、誰もが住みやすい地域づくりをしていくとする理念が同システムに包含されているということです。

つまりは、一部の専門家だけではなく、国民の一人ひとりがこの問題を認識していくことが重要であり、そのための理念や具体的な手段が「にも包括」なのです。厚労省が作成した「にも包括」のイメージ図を次頁に掲載します。

札幌市の検討会が始動

札幌市ではピアサポーターを活用した精神科病院への訪問活動、24時間365日の精神医療

相談窓口を設ける等精神障害者地域移行支援を展開してきました。そして国が推奨する「にも包括」を地域で実践していくために、精神障害者を支援する関係者及び当事者、その家族等が一堂に会し、重層的に連携する支援体制の構築に向けて、令和3年4月、札幌市においても「札幌市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討会」が設置されました。医療・相談支援・居住支援・地域福祉・高齢福祉関係者、精神障害を抱える当事者、家族、学識経験者、関係行政機関の職員など20名弱の委員が選任され、札幌市における「にも包括」の推進に向けた活動が鋭意展開されています。

具体的な中身としては、オンライン上での意見交換等を通じた「顔の見えるつながり」の構築、事例検討会を通じた札幌市における精神保健医療福祉のニーズの掘り起こしや課題の抽出などを行っています。まだ始まったばかりの検討会であり、今後こ

あれみゅう

コラム

「病院機能評価3rdG:Ver.2.0」の認定を受けました

さっぽろ香雪病院は令和3年11月に(財)日本医療機能評価機構の訪問審査を受け、令和4年2月4日付で病院機能評価3rdG:Ver.2.0の認定を受けました。平成18年に初回の認定を受けてから、今回が4回目の認定となります。

病院機能評価とは、日本医療機能評価機構が実施している事業であり、質の高い医療が効率的に提供されることを目的に、所定の評価項目に沿って第三者による評価が行われるものです。今回審査を受けた「機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0精神科病院」では4つの領域に沿って評価が行われました。



- 第1領域 患者中心の医療の推進
- 第2領域 良質な医療の実践1
- 第3領域 良質な医療の実践2
- 第4領域 理念達成に向けた組織運営

これら4領域で計93個の評価項目があり、書類審査、面接調査、部署訪問などを通して評価が進められます。本来は令和2年度に訪問審査を受ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い1年の延期措置をとり、令和3年11月24日、25日の2日間にわたり3名の調査員(サーベイヤー)が来院して訪問審査が行われました。病院内の各部署では、緊張の面持ちでサーベイヤーをお迎えしつつ、活発な質疑応答や意見交換が行われ、日頃の取り組みを振り返る貴重な機会となりました。

病院機能評価の審査を受けることで得られるメリットには次の点が挙げられます。

1. 審査に向けて準備を進めていく過程で様々な改善活動が行われ、医療の質の向上につながります。
2. 第三者による評価を受けることで自分たちの病院の状況を客観的に把握することができます。評価結果をもとに改善すべき問題点や課題が明確になります。
3. 訪問審査を通して、第三者から様々な指摘やアドバイスを受けることで、職員の自覚がわき、改善しようという意欲が引き出されます。

今回の訪問審査から得られた課題や気づきをもとに、新たな改善の取り組みがスタートしています。今後とも継続的な医療の質の向上に努め、患者さんに寄り添い、信頼していただける病院づくりに取り組んでまいります。

編集者お勧めの本

人新世の『資本論』

著：斎藤幸平 集英社新書 2020年



これは「新書大賞2021第1位」の話題本です。「人新世」とは人類の経済活動が地球を破壊する環境危機の時代を示す言葉と示されています。

内容はSDGsをはじめとする環境への対策では地球環境の破壊は止められないことを前提としています。前段は、どうして環境破壊が止められないかを様々なデータと研究報告を用いて説明しています。中盤は、マルクスの新しい理論を用いて脱資本主義について論じています。後段には、どうすれば環境破壊を止められるかを示唆しています。

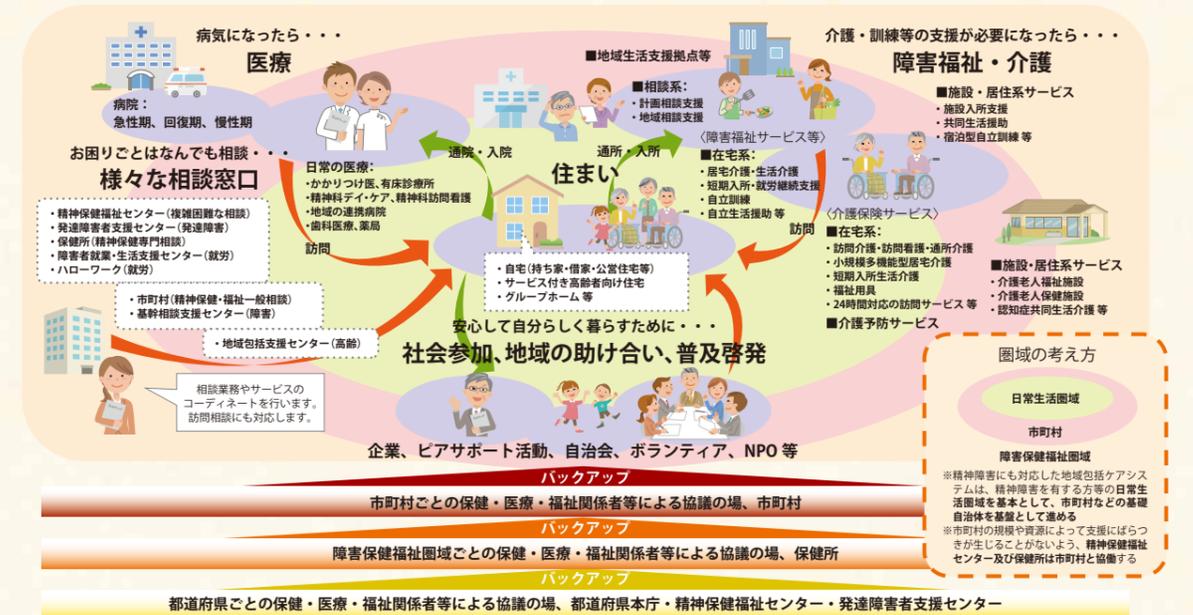
著者は若き哲学者であり、専門は経済思想・社会思想です。本書は専門用語が多くあり読みやすい本

ではありませんが、私たちが何気なく行っている消費生活を広い視点から見ることができます。全章を読破しなくても、「第1章 気候変動と帝国的生活様式」・「第3章 資本主義システムでの脱成長を撃つ」・「第7章 コミュニズムが世界を救う」を読むことで立ち止まって考えることができるのではないかと思います。

短いながらもエッセンス・ワークに関して「使用価値を重視する社会への移行が必要」と述べています。その社会的な位置付けが高くないことを指摘して、労働の価値を重んじる社会にすべきという考えは心強いです。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築(イメージ)

- 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労など)、地域の助け合い、普及啓発(教育など)が包括的に確保された精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す必要があり、同システムは地域共生社会の実現に向かっていく上では欠かせないものである。
- このような精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の有無や程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、市町村ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポーター、家族、居住支援関係者などとの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



出典:厚生労働省

の取組の意味や意義を見出し、広く一般化させていくには時間がかかりそうですが、札幌市のすべての精神障害者等が安心して自分らしく暮らしているように、より一層当事者を含めた関係者間での連携を強化していく予定です。

地域共生社会の実現を

目指すのは人が持つさまざまな特性や特徴の「多様性」を含めてその人の個性として捉え、そのまま社会の中に包摂していく「ソーシャル・インクルージョン」。制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながり、住民一人ひとりの暮らしと生きがい等を地域と共に創っていく「地域共生社会」の実現に向けて、当院も役

厚生労働省
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/chiikihokukatsu.html>

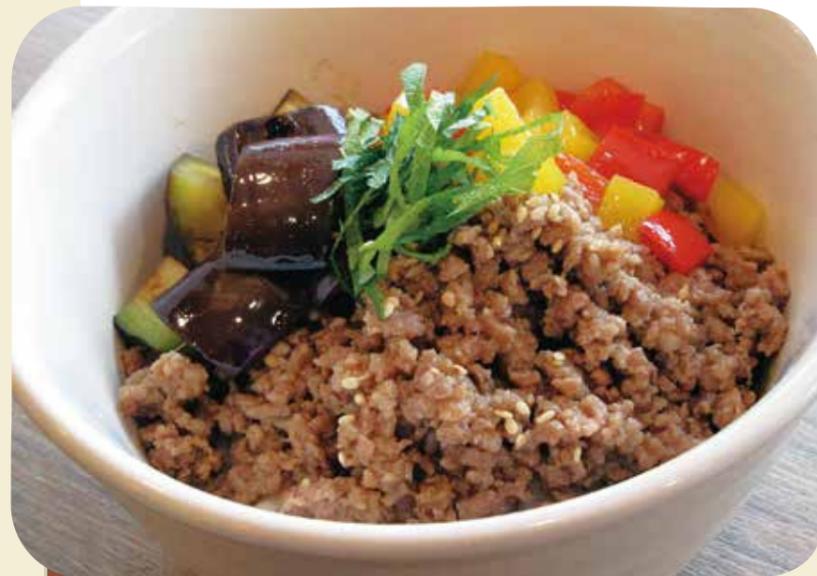
割を果たしていきます。

当法人は、セーフティネットとなる精神科救急とこれまで培ってきた地域支援の質を高め、「にも包括」の推進に寄与したいと思えます。地域の関係機関との連携を強化し、精神疾患や精神障害を抱えた方のみならず、日本に暮らすすべての方々も望む暮らしが実現できるよう、これからも邁進していきます。

尾形 多佳士(精神保健福祉士)

肉味噌そぼろ丼

重宝する肉味噌そぼろを活用しよう。
色鮮やかな夏野菜とそぼろで、元気をいただきませーす!!



みゆうちゃんオススメ!

あれみゆう レシピ!

材料 (2人分)

肉味噌そぼろ

- ・豚ひき肉 300g
- ・にんにく、生姜 各小さじ1
- ・ごま油 大さじ1
- 酒 大さじ2
- 味噌 大さじ2
- みりん 大さじ1
- 砂糖 大さじ1
- ・なす 1/2個
- ・パプリカ(赤・黄) 各1/2個
- ・ご飯 1膳

栄養

カロリー(1人分) 約793kcal

ワンポイントアドバイス

作り置きも出来るので、
冷凍して常備しておく
食べたい時に便利です。



レシピ提供

ワークサポート・
petit pas プティパ

札幌市清田区平岡3条1丁目2-5
TEL: 011-887-5111

作り方



1 材料を計量します
(Aの調味料は合わせておく)



2 熱したフライパンにごま油をひき、
豚ひき肉、にんにく、生姜をパラ
パラになるまで炒めます



3 Aの調味料を入れ全体に火が通っ
たら肉味噌そぼろの出来上がり



4 一口大に切ったナス、パプリカを
炒めて火が通ったら完成

アレンジ



青じそ、金ごまをふりかけて食べや
すくアレンジ



キムチチーズをのせてコクと辛味で
ご飯や麺にも合います



さっぽろ香雪病院
看護部長
角谷 英幸

看護部長 就任あいさつ

今年度より看護部長を拝命
いたしました。角谷英幸と申し
ます。大役を引き継ぎ、重責に
身の引き締まる思いで日々を
過ごしております。

当院は、札幌市における精神
科の基幹病院として、精神科医
療の中核的な役割を担ってお
り、看護部では「豊かな心と感
性を持ち、人間尊重に基づいた
質の高い看護を提供する」を理
念とし、専門性の高い看護の実
践を目指しています。平成29年
には入院医療中心の精神医療
から地域生活中心という、精神
障害者の地域移行または地域
定着を進めるための地域づく
りを目指すべきという国の指
針が示され、『精神障害者にも
対応した地域包括ケアシステ
ム』の構築や、精神科医療を取

患者さん及びご家族、地域支援者の方々に
信頼される質の高い看護を提供いたします

り巻く情勢の変化にも柔軟に
対応していくことが求められ
ています。そうした中でより一
層の地域移行を積極的かつ円
滑に進めるために、多職種協働
によるチーム医療を実践して
います。退院後も患者さん一人
ひとりのそのひとらしさを大
切にし、夢や希望の実現、そし
て、充実した生活が送れる支援
体制について、関連機関の協力
を得て連携を図りながら、患者
さんやそのご家族により添っ
た支援に努めています。

看護部のキャリア開発につい
ても支援を行っています。
現在も、新型コロナウイルス
感染症流行に伴う感染予防対
策として面会・外出に対する自
粛のお願いが続ぎ、患者さん・
ご家族の皆さんにはたくさん
のご不便やご不自由をおかけ
しておりますが、当院で勤務す
る看護部職員一人ひとりが、患
者さん及びご家族、地域支援者
の方々に信頼される質の高い
看護を提供したいと思えます。
精神科看護の基本である「ここ
ろの対話」を大切に、看護部職
員が元気にやりがいをもち、成
長できる職場づくりをしてい
きたいと考えています。これか
ら、皆様からのご指導、ご鞭
撻の程よろしくお願い申し上
げます。



さっぽろ香雪病院

〒004-0839
札幌市清田区真栄319番地
TEL.011-884-6878
FAX.011-884-6731
<http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp>

病床数450床
・精神科救急病棟60床
・精神一般病棟60床
・精神療養病棟220床
・認知症病棟110床

